

静岡県言語・難聴・発達障害教育研究会

会 報

第519号



発行日 平成29年1月31日

担 当 熱海市立第二小学校
言語通級指導教室

〒413-0028 熱海市桜町 3-20

電話番号 0557-85-3301

FAX 0557-85-3301

熱海市立第二小学校長 西山義則

本校は、熱海市の西部地区にあり、学区は観光地熱海の中心部と新しい住宅地・団地からなります。町内会やPTAの役員の方々、地域の青少年健全育成会・コミュニティ安全会議等の諸機関が、コミュニティとして連帯感を高め、地域社会や家庭の教育力の向上を目指しています。

平成8年に竣工した現在の校舎。特徴的な施設としては、温泉地“熱海”ならではの「温泉プール」があり、一般の方にも開放されています。水泳の授業の後は、子どもたちは、みんなで温泉につかり、心と体をあたためます。

校 訓 「明るい心で きれいな言葉」
学校教育目標 「本気でやる子！」
重点目標 「かんがえる子 やさしい子 きたえる子」

本校の児童は、子どもらしく明るくとても素直です。そんな第二っ子の可能性を100%引き出すために、平成28年度は、学校教育目標「本気でやる子！」のもと…「明るい・大きな声や明るい表情で挨拶する。」「考えを堂々と述べ、せいせいと声を出して表現する。」「思いやりとやさしさをもって他の子と積極的にかかわり、考えを認める。」「健康・体力向上への高い意識をもちつづける。」…を目指す子どもの姿として、教育活動に取り組んでいます。

本校には、市内全域を対象とした「幼児ことばの教室」「学齢ことばの教室」「わかたけ教室(発達)」が設置されています。4名の指導担当が、保護者のみならず、幼稚園・保育園、学校の先生方と連携を取りながら指導を進めています。

「学齢ことばの教室」は、本年度から、熱海市立第一小学校をサテライト校としての指導を始めました。

また、新たに通級教室説明会や在籍校担任による通級指導の参観を始め、児童理解と連携を図るとともに、市内の先生方に通級指導教室への理解を深めるように努めています。

第二小学校の通級指導教室は、熱海市の特別支援教育のセンター的な役割を担うことを目指して、特別支援教育についての情報や考え方を発信したり、巡回相談を実施したりしています。

通常の学級の児童生徒の約6.5%が特別な支援を要すると推定され、近年、通常学級に在籍する発達障害(LD・ADHD・高機能自閉症等)の可能性のある児童生徒に教育的支援をいかに提供するかが課題となっています。通級指導教室が、そのような児童生徒の重要な学びの場であることをしっかりと受け止め、熱海市の特別支援教育のセンターとして機能できるよう努力しています。

教室紹介

熱海市には4つの通級指導教室があります。昭和51年に、「言語指導教室・幼児言語治療教室」が開設し、平成22年に「発達通級 わかたけ教室」、平成26年に「幼児ことばの教室 網代教室」が開設されました。第二小学校を拠点として通級指導教室があることで、それぞれの教室が連携して指導をしています。



幼児ことばの教室 熱海教室（第二小内）	幼児ことばの教室 網代教室（網代小隣接）
---------------------	----------------------



遊びを通してことばを育てるため、常設の遊具だけでなく、月ごとに違う大型遊具を設置し、明るく楽しい雰囲気の中での指導を心がけています。

ことばの教室（学齢・言語指導教室）	わかたけ教室（学齢・発達指導教室）
-------------------	-------------------



市内7校から、ことばの教室23名、わかたけ教室23名の児童が通級しています。楽しみながら、積み重ねのある指導を行うよう、一人一人の表れに合わせた教材を工夫しています。

第二小学校内に「幼児」「言語」「発達」の3つの教室があることで…

- 子どもたちを、幼児から学齢へ継続して支援し、見守っていくことができます。
- それぞれの立場から子どもたちを見つめ、指導の方向性について多角的多面的に検討することができます。

本年度の取り組み

【通級教室で目指しているもの】



在籍校との連携を深め、
もっと自分のクラスで活躍できるようにしたいな。

- 通級教室についてもっと知ってもらおう！
- 指導の様子を見てもらったらどうかな。
- 気軽に相談できる関係を作りたいな。



在籍校・担任と話をする機会を作ろう！

通級教室説明会・担任：通級指導参観・在籍校参観（年2回）・市教研：通級紹介 など

《通級指導教室年間計画》

4月	○保護者はじめの会 ◇「ことばの教室」 サテライト開始	10月	◇担任参観日（～11月） （普段の指導を見ていただきました。）
5月	・1年生 指導開始	11月	◇熱海市市教研 「ことばの教室」発表 ○第2回 保護者交流会（校長講話） （本校校長の講話を依頼し有意義な時間となりました。）
6月	○第1回 保護者交流会 ◇第1回 在籍校訪問	12月	◇第2回 在籍校訪問（～1月） ○保護者面談（親子制作活動） ◇2学期 指導報告書作成
7月	◇1学期 指導報告書作成	1月	◇第2回 在籍校訪問（12月～）
8月	◇通級説明会 （指導の様子を説明、担任との懇談）	2月	○◇来年度の通級について確認
9月		3月	◇在籍校へ指導所見を送付

【○保護者 ◇在籍校 を対象にした取り組みを計画し、実践しました。】

【熱海市市教研 特別支援部会での発表の様子】



H27年度は「わかたけ教室」、H28年度は「ことばの教室」が発表し、指導の様子や特別支援教育への共通理解を図りました。通級指導教室に通級する子どもたちの様子や指導の内容について初めて知った方も多く、通級教室の理解のためによい機会となりました。

【在籍校の先生方のアンケートより】

- できれば、自校での指導があればよいが…。
- 在籍校訪問が2回になり、学校での様子を見てもらった上で直接話し合う機会が増えたことはとてもよかった。
- 学校生活の充実、生きる力を高める上で、通級指導教室が役に立っている。
- 実際に通級の教室や指導の様子をみることができてとてもよかった。
- 保護者の願いなど、情報を共有したり、手立てについての助言をいただいたりすることができて、とても助かっている。



【今年度の取り組みを振り返って】

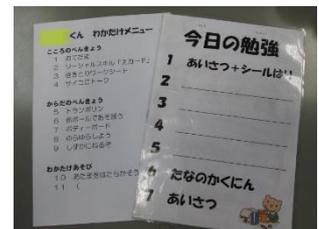
- 在籍校の先生方と直接会う機会が増えるほどに、気軽に情報交換をしたり、相談したりできるようになった。
- 在籍校訪問等の実施時期やアンケートの内容をさらに改善していきたい。
- 特別支援の方法や障害について、在籍校や保護者が必要としていることを伝えることができるよう、研修を深めていく必要がある。
- 教育委員会とも協力し、熱海市として組織的な運営ができるようにしていく。



(指先の練習：折り紙で掲示物)



(吹く活動：鬼倒し)



(個別の指導の流れ)